学校番号	317

平成 31 年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２　（日本文教出版）						
副教材等	ワークシート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■表現及び鑑賞の活動において美術を形づくっている要素を知覚し、その働きを感じ取って表現することや、意図や根拠をもって美術のよさを視覚で表すことめざす。

・授業の進め方は表現活動と鑑賞活動を平行して行う。発表会は随時行う。
・授業には積極的に参加し、アイデア段階から自発的に考え常に工夫し続ける姿勢を重視する。
・作品提出は期限をまもり、必ずすべてを提出する。必要により補習を行う。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や創造力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術制作に向けて	・オリエンテーション 教科書や授業作品等を鑑賞し多様な表現形式について学び「美術2」の学習イメージを持つ。 ・人物クロッキー 生徒同士でモデルをたて人物の10分程度で早描きをおこなう。 人体の構造の理解、骨格を意識する。 (今後、授業開始時に行いデッサン力、集中力の向上を目指す)	◎ ◎	 ○	 ◎	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構図などを工夫している。 c:クロッキーする目的を理解し、素早く形体をつかみ鉛筆の特性を生かしながら的確に表現している。 d: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている	学習活動の様子 制作の様子 作品
1学期	自画像で自己紹介	・油絵自画像鑑賞 1年生3学期で制作した自画像をもとに、自己紹介をかねた鑑賞会を行う。	◎			◎ ◎	a:友人の作品を見て、多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている d:作品のよさや美しさ作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深める。	学習活動の様子 鑑賞ワークシート
1学期	デザイン・レタリングの基礎	・作図 ・レタリング ケント紙に定規で作図する。 ゴシック体・明朝体の特徴を正確に理解しそのポイントを押さえたレタリングを行う。 書体による見え方の効果や用法について理解する。	◎ ◎	○ ○	 ◎		a: 作図やレタリングの基礎に関心を持ち、その用法を考えながら取り組めている。 b:条件や書体の特徴から、働きを考えて表現している。 c:ゴシック体と明朝体の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に制作している。	制作の様子 制作途中の作品 作品

1学期	レタリングでデザインしよう	・アイデアスケッチ レタリングによる独創的な美しいデザインを考える テーマ「変化と動き」 ・アイデアスケッチの相互鑑賞(班) ・彩色 アクリル絵の具やその他必要な素材等を用いて、制作を行う。 ・相互鑑賞・プレゼンテーション(全体)	○ ◎ ◎ ◎ ◎	 ◎ ○	 ◎	 ◎ ◎	a:作図や変形の面白さに気付き、デザインの目的を考えながら主体的に取り組もうとしている。 b:アピールする事物などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、デザインの働きや作品になどについて理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
夏休み	高校展鑑賞レポート	・高校展鑑賞レポート 夏休みの宿題 各自美術館に足をはこび、高校生の優れた作品を鑑賞する。	◎	○		◎	a:各自が美術館におもむき、積極的に鑑賞しているか。 b:鑑賞の中で２学期以降の自らの美術制作に生かせる工夫を見いだせているか d:鑑賞での感動がしっかりと表現されたレポートが作成できたか。	鑑賞レポート
2学期	油絵　模写	・印象派　鑑賞ワーク 印象派の作品について鑑賞しその表現の特徴的な部分を探す。 ・題材選び 模写したい作品を決める。 ・模写制作 印象派の特徴を押さえながら制作する。 ・鑑賞 自分の表現にはない、新たな表現技法の獲得はあるか。	◎ ◎ ◎ ◎	◎ ○	 ◎	 ◎	a:印象派の表現に関心を持ち、表現活動に主体的に取り組もうとしている。 b:印象派の特徴や美しさを感じ取り、創造的な構成を練って題材を選んでいる。 c:油絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d: 印象派作品のよさや美しさなどを感じ取り、これからの自らの制作に帰結するように理解を深めている。	鑑賞ワークシート 調べ学習 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品

3学期	チョークアート ルームプレート作り	・準備 木材の切断とペンキによる塗装 ・デザインのアイデアスケッチ 「用と美」を考えながら独創的なデザインを各自で考える ・制作 オイルパステルやその他必要な素材等を用いて、制作を行う。 ・相互鑑賞	○ ◎ ◎ ◎	◎ ○	◎ ○	◎	a:ルームプレートデザインの目的を考えながら、表現の独創性の取り入れ主体的に取り組もうとしている。 b:アピールする事物などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、デザインの働きや作品になどについて理解を深めている。	ワ制作の様子 製作途中の作品 作品

※　表中の観点について　a： 美術への関心・意欲・態度　　b： 発想や構想の能力

c： 創造的な技能　　d： 鑑賞の能力

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。